



環境経済委員会委員  
市議:瀬戸裕美子

# つくば・市民ネットワーク 市議会速報

発行責任者/つくば・市民ネットワーク会派代表 瀬戸裕美子  
つくば市千現1丁目18-5-101 Tel&Fax: 859-0264  
E-mail: tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/



総務委員会委員  
市議:永井悦子

6月定例市議会(6月13日~29日)が終了しました。

請願「東海第二原発の廃炉を求める意見書」に続き、

を求める意見書も

## 大飯原発の再稼働中止、全会一致で採択!

福島原発事故後、原因究明は進まず、安全対策のための規制庁設置も実現しないまま、大飯原発の再稼働が始まってしまいました。

6月議会で改めて、原発の再稼働について市長の見解を求めましたが、「大飯原発のような特定の事案については、詳細を充分理解把握していないので、コメントは差し控えたい」と煮えきらない答弁。

このような中、つくば・市民ネットワーク永井悦子は「大飯原発再稼働の中止を国へ求める意見書」を議員提案。その結果、3月議会の請願「東海第二原発の廃炉を求める意見書」に続き、全会一致で可決しました。

現在、国では「エネルギー・環境に関する3つの選択肢(原発依存度①ゼロ、②15%、③20~25%)」へのパブリックコメントを8月12日まで募集中。

重要な案件を十分な情報も議論もなく、短期間で意見募集することには問題もありますが、これ以上再稼働を許さないために、今こそ「脱原発・再稼働中止」の声を届けましょう!

### 大飯原発再稼働の中止を求める意見書

福島第一原発の事故によって、我が国における原発の安全性には大きな問題があることが明らかになりました。国、東京電力、専門家の対応は、原発に対して、十分な危機管理の体制が整っていないことを露呈する結果となりました。

同時に、事故後の処理はまだまだ先が見えず、使用済み核燃料プールがむき出しの状態、地震が頻発する中、更なる放射能汚染のリスクが危惧されます。

このような中、野田首相は、関西電力大飯原発を「国民生活を守る」ために、再稼働すると決定し、準備が進んでいます。

福島第一原発事故の原因究明も終わっていない現在、この判断は「国民の生命、財産を守る」立場の国政の責任者として許されないものです。

原子力安全保安院が廃止され、原子力規制庁が設置されるとのことですが、これもまだ実現していない状況です。日本国内のどこにおいても、東日本大震災クラスの地震や津波が発生しないとは誰も約束できません。

このように、大飯原発の再稼働は多くの問題を残したままの見切り発車であり、国民の生命、財産を守る立場から、以下のことを求めます。

記

1. 安全性の確保の観点から、大飯原発の再稼働を中止する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。  
平成24年6月29日

つくば市議会

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、総務大臣

## 話そう会

- |          |          |  |
|----------|----------|--|
| 8月 1日(水) | 並木交流センター | 議会の報告、身近な問題について話し合います。お気軽にお越し下さい。どの回も14~16時です。 |
| 8月 3日(金) | 松代交流センター |  |
| 8月 4日(土) | 荃崎交流センター |  |
| 8月 7日(火) | 竹園交流センター |  |
| 8月19日(日) | 春日交流センター |  |

# 6月市議会「一般質問」で確認した項目

せと ゆみこ  
瀬戸 裕美子

1. 地域交流センター(変更後の状況と課題)
2. 公共交通(利用状況と課題)
3. 遺伝子組み換え作物栽培実験

ながい えつこ  
永井 悦子

1. 防災対策(竜巻後の課題、地域防災計画見直し)
2. 風車問題(業者への注意内容、入札の確認)
3. 脱原発政策(市長の見解を確認)

詳しい内容は7月26日新聞折込の「つくば・市民ネットワーク通信第31号」に掲載します。  
配布ご希望の方はつくば・市民ネットワーク事務局(Tel 859-0264)までご連絡ください。

## 9月から、条件付き 一般競争入札、全面導入へ!

つくば市の入札・契約の制度改善へ向け、これまで議会では、決議や特別委員会の設置を行い、取り組んできました。しかし、議会の決定が反映されないまま約2年が経過し、今年3月議会では、条件付一般競争入札の早期実施を求め、執行しない市長の責任を問う問責決議を提出しました。議決は賛否同数になり、最終的に議長の反対で否決に。

ところが、6月議会冒頭、市長から「本年9月から条件付一般競争入札の全面導入を決めた」と報告があり、担当からは「地元事業者保護のため、市内に本店や営業所があることなど条件を検討し、新しく入札監視委員会を設置する」と説明がありました。

監視委員の人選は行政に委ねられるなど課題はまだありますが、再三にわたる議会の働きかけで、入札制度は改善へ一歩踏み出しました。

今後も更なる改善へ向け、執行状況の確認と働きかけをしていきます。

### <近年のつくば市入札制度改革の経緯>

- H21. 9 つくば市行政改革担当理事による「つくば市における入札・契約(建設工事)の現状と改善の方向」で入札制度改革が市の重要課題と指摘
- H22. 6 条件付一般競争入札への全面移行を求める決議案が賛成多数で可決。議会内に入札制度調査特別委員会を設置
- H22.12 同委員会で「6カ月以内に条件付き一般競争入札の全面実施ができるよう環境整備を進める」との結論に至る
- H23. 6 市長から一般競争入札の工事の対象を「3000万円から1500万円以上の案件」と変更が発表
- H23. 9 条件付一般競争入札導入を再度求める決議案が賛成多数で可決
- H24. 3 入札改革に関する市長への問責決議案は賛否同数、議長判断で否決
- H24. 6 市長から条件付き一般競争入札の全面導入が発表される

### 審議結果(6月議会)

全会一致で採択された議員提案：大飯原発再稼働の中止を国へ求める意見書

// 趣旨採択された請願：障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める国への意見書請願  
「市民総合活動センター」(仮称)の設立を求める請願

議決の結果 (可決・採択：○、否決・不採択：×)	会派名	つくば・市民ネットワーク	親政の会	つくば市民政策研究会	つくばクラブ	公明党	民主党	新しい政治を始める会	日本共産党	新社会党	愛して、つくば
『社会保障と税の一体改革』による消費税の増税は行わないことを求める意見書提出に関する請願	×	○	○:木村、塙、市川 ×:大久保、塚本、矢口 棄権:塩田	×	×	×	×	×	○	○	×
市議会会議規則改正(一問一答形式にする行政の反問権を認める)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
各会派の所属議員(敬称略) *:会派代表 (議員数30人・議長:飯岡 欠席:馬場)		*瀬戸 永井	*塩田 市川、大久保、塙 木村、矢口、塚本	*柳沢 須藤、高野 安井、吉葉 古山	*久保谷 鈴木、今井 松岡、飯岡	*小野 浜中 山本 (馬場)	*田宮	*五十嵐	*橋本 田中	*金子	*ハイズ

※議員提案「つくば市審議会等会議の公開に関する条例案」は更なる審議が必要と、閉会中の継続審議になりました。